

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	石綿関連疾病診断技術研修事業		担当部局庁	労働基準局労災補償部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	補償課		河合 智則		
会計区分	労働保険特別会計労災勘定		施策名	Ⅱ 2 4 労働災害に被災した労働者等の社会復帰に向けたリハビリ等を支援する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第2号		関係する計画、通知等	石綿関連疾患診断技術研修事業委託要綱				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療関係者に対し、石綿関連疾患の診断方法、石綿ばく露に関する所見の読影・検索方法や労災補償上の取扱い等について研修を実施することにより、医療関係者による労災請求の勧奨等を通じて、被災労働者の援護を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>石綿関連疾患の診断及び石綿ばく露に関する所見については、その判断が困難な場合が多く、これらの診断に当たっては、医学的な知識・経験に加え、石綿ばく露等についても知識が必要であることから、医療従事者に対し、石綿関連疾患に係る診断技術の向上・労災補償制度の周知を図るため、以下の内容について研修プログラムを作成し、研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石綿に関する一般的知識、職域におけるばく露について ・石綿関連疾患の病態、診断及び臨床について ・石綿小体計測実習について ・労災補償制度について 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	29	35	23	23	22	
	執行額	24	33	19				
	執行率(%)	82.8%	94.3%	82.6%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	全国の呼吸器系の疾患を取り扱う医師、産業医、放射線技師等の医療関係者に対して、石綿関連疾患の診断方法、石綿ばく露に関する所見に関する読影・検索方法及び労災補償制度上の取り扱い等について研修を実施し、受講者からの「有意義であった」旨の回答を80%以上とする。		成果実績	「有意義であった」旨の回答率	—	受講者からの「有意義であった」旨のアンケート回答率は96.5%であった。	受講者からの「有意義であった」旨のアンケート回答率は99.5%であった。	受講者からの「有意義であった」旨のアンケート回答率は80%以上
			達成度	%	—	100%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	全国各地域において、計17回の研修を実施し、延べ500人が受講すること。(平成21年度の目標:延べ630人を対象として研修を実施する。)		活動実績 (当初見込み)	研修回数 受講人数	—	受講人数705人	研修回数計21回 受講人数687人	—
					—	(受講人数630人)	(研修回数17回、 受講人数500人)	(研修回数17回 受講人数500人)
単位当たりコスト	910,708(円/研修1回)		算出根拠	研修1回あたり 19,124,886円(執行額)÷21(回)=910,708円				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	賃金・謝金	4	4	単価の実績反映による減				
	旅費	4	4					
	事務費等	14	13					
	消費税	1	1					
	計	23	22					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業を行うに当たっては、石綿関連疾患に係る幅広い見識を有する医師等の専門家や石綿小体等の計測に必要な極めて高度な技能及び経験を有する者を確保することが重要な条件であるが、このような要件を仕様書において具体的・詳細に網羅することは極めて困難である。そのため、一定条件の下で、複数の者から企画書等を提出させ、その中から石綿関連疾患に係る専門性や業務遂行能力等が最も優れた者を選定する企画競争によることとしたもの。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>より効果的な研修を行うべく、研修内容について最新の医学的知見等を反映したものになるよう改善を図るとともに、今後の執行状況を踏まえ必要額を精査してまいりたい。 なお、受託者は企画競争を行った上で選定している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>石綿関連疾病診断技術研修事業については、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>執行実績を踏まえ研修会に要する経費の単価を見直したことによる削減(反映額: ▲497千円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

厚生労働省
19百万円(平成22年度執行額)

〔事業管理、受託者への指導〕



【企画競争】

A. 独立行政法人 労働者健康福祉機構
19百万円

〔研修プログラムの作成、研修の実施・運営〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.独立行政法人 労働者健康福祉機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
謝金	研修プログラム検討委員会出席謝金、研修会講師謝金	11			
旅費	研修プログラム検討委員会出席旅費、研修会出席旅費	3			
事務費	研修テキスト購入費、会場借料費、資料発送費	4			
消費税	消費税	1			
計		19	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)労働者健康福祉機構	<p>石綿関連疾患の診断及び石綿ばく露に関する所見については、その判断が困難な場合が多く、これらの診断に当たっては、医学的な知識・経験に加え、石綿ばく露等についても知識が必要であることから、医療従事者に対し、石綿関連疾患に係る診断技術の向上・労災補償制度の周知を図るため、以下の内容について研修プログラムを作成し、研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石綿に関する一般的知識、職域におけるばく露について ・石綿関連疾患の病態、診断及び臨床について ・石綿小体計測実習について ・労災補償制度について 	19百万円	1	99%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					